

令和4年度 指定管理施設運営状況中間評価表

1. 施設の概要

施設の名称	むつ市介護老人保健施設やげん		
指定管理者	団体名	医療法人 章士会	
	代表者	三上 史雄	
	所在地	むつ市柳町一丁目8番22号	
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日（5年間）		
指定管理業務の概要	介護サービス（介護老人保健施設）		

2. 収支の状況 ※消費税及び地方消費税を含んだ額を計上すること。自主事業分は含まないこと。

※原則として他会計からの繰入金及び他会計への繰出金は含まないこと。

※人件費には、経常の指定管理業務にかかる人件費のみを記載し、臨時的な日雇い雇用などの賃金を含まないこと。

単位：千円

区 分	年間計画額①	上半期実績額②	増 減 (②-①)
収入合計(A)	138,700	65,842	▲72,858
うち利用料金額	132,200	65,652	▲66,548
うち指定管理料	0	0	0
支出合計(B)	138,700	71,044	▲67,656
うち人件費	108,000	53,100	▲54,900
収支差(A-B)	0	▲5,202	▲5,202
市への納入金	0	0	0
計画額と比較した実績額の増減理由	計画：ベッド利用率 94% (27.3床/日) 理由：売上実績については、ほぼ計画どおりの推移ですが、7月～8月の新型コロナウイルス感染者の確認により、対応経費が1,000（千円）以上となり、感染症対策見直しに伴う経費の増大が今後も予想されます。		

3. 施設利用の状況

単位：人

	区 分	年間計画 ①	上半期実績 ②	増 減 (②-①)
利用者数	介護老人保健施設			
	延べ入所者数	9,950	4,933	▲5,017
利用者の声とその対応状況 ※利用者アンケートの実施（有・ <u>無</u> ） 提案箱、苦情受付窓口の設置、支援相談員による利用者とその家族との定期的な面談により、苦情や相談を収集している。今年度、苦情やそれに類することはありませんでした。				

4. 自主事業の実施状況

単位：人、千円

事業名	利用者数	収 入	支 出
なし			

5. 個別項目評価 ※指定管理者と市の所管課が評価

評価基準 A（優 良）：計画された業務水準を大きく超える、独自の取組を実施するなど、特にめざましい成果をあげることが見込まれる。

B（適 正）：適正に指定管理業務を行っており、計画された業務水準を達成できることが見込まれる。

C（要改善）：指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の余地がある。

評 価 項 目	自己評価	市の評価
(1) 施設設置目的に添ったサービス向上に関する取組み状況		
①開館時間、休館日等を守り、施設利便性の確保に努めたか。	B	B
②施設の使用許可、使用料減免等が適正、円滑に行われたか。	B	B
③利用者に対する接客マナー等、職員の勤務態度は適正だったか。	B	B
④利用者の意見を聴取し、それらを反映する取組みを行ったか。	B	B
(2) 利用促進に関する取組み状況		
①施設利便性を高める努力を行い、効果が得られたか。	B	B
②潜在的な利用者等に営業広報活動を行い、利用アピールをしたか。	B	B
③自主事業を企画・実施し、効果が得られたか。	—	—
(3) 効率性の向上に関する取組み状況		
①施設管理経費を低減するための取組みを行い、効果があったか。	B	B
②収入増を図るための取組みを行い、効果があったか。	B	B
③職員の資質・能力向上を図る取組みがされたか。	B	B
(4) 施設の適正な維持・管理に関する取組み状況		
①施設の維持管理、運営に当たる人員配置は適正であったか。	B	B
②設備・備品の維持管理及び修繕が適切に行われたか。	B	B
③労働関係法令等を遵守し、適正な管理を行ったか。	B	B
④利用料金の収受及び施設管理経費の支出は適正であったか。	B	B
(5) 平等利用、安全対策、危機管理等に関する取組み状況		
①利用者が平等に利用できるよう施設利用情報提供に配慮したか。	B	B
②日常の事故防止等の安全対策は適切であったか。	B	B
③防犯、防災対策等の危機管理体制は適切であったか。	B	B
④利用者の個人情報保護は徹底されていたか。	B	B

6. 指定管理者総合評価 ㊤自己評価をAとした項目の内容及びCとした項目についての改善策を記載すること。

ベッド利用率を通期 94%（利用延べ数 9.950、1日あたり 27.3人）として設定し、例年、利用率が落ち込む5月～9月を乗り切ろうと関係者にて意思統一が図られ、体制・体質強化という目標を推進して参りました。上期実績は、計画進捗 49.5% 達成率 99.8%、利用率 93.0%（利用延べ数 4.933 1日あたり 27.0人）、前同比 104.6%、増減+217という結果でした。

7月後半から新型コロナウイルスの感染者が確認され、感染対策等の見直しと整備のため、現在まで入所者数コントロールの優先順位を下げています。

また、設備・備品の経年劣化が多く、応急措置や利用方法を工夫するなどして対応しています。

7. 市の所管課総合評価 ㊤市の評価をCとした項目についての指導内容も記載すること。

新型コロナウイルス感染者の確認により、経費の増大と感染対策の見直しに苦慮されたようですが、感染拡大を最小限に止める努力により短期間での収束となったものと思われまます。コロナ禍での新規入所者受け入れ判断が難しい状況にあると思いますが、今後も感染対策の徹底により入所者の確保に努め、入所者の安心した生活を支援するため質の高いサービスを提供していただきたいと思います。